

知的オフィス環境推進協議会

2021年3月定例研究会 報告書

1. プログラム

- ◆日時：3月26日（金） 13：30－16：30
- ◆場所：パナソニック映像㈱ 東京都品川区東品川1丁目3番12号
<https://panasonic.co.jp/cns/pvi/access/tokyo.html>
- ◆開催方法：リアルおよびオンライン配信のハイブリッド方式
- ◆内容：
 - 13:30～13:40 オープニング
 - 13:40～14:40 講演（30分×2）
 - ・講演1 「集中力 個人適応空間のご紹介」 パナソニック㈱ 大林史明
概要：個人の集中力を把握し、状態に応じて環境を制御することで、
集中力の維持向上を図る空間およびその技術を紹介（検討中）
 - ・講演2 パナソニック映像㈱の紹介 社長 宮城邦彦
 - 14:45～16:15 施設見学
 - ・パナソニック映像ショールーム見学
 - ・TENNOZ Rim 見学
 - 16:20～16:30 クロージング

2. 関係者への礼状

パナソニック株式会社

久保徹周様、大林史明様、西村唯史様、ご関係者各位殿

パナソニック映像株式会社

宮城邦彦様、小野一成様、ご関係者各位殿

写：知的オフィス環境推進協議会 運営委員各位

三木です。

先日は知的オフィス環境推進協議会の3月定例研究会を皆様のご協力によって開催させて頂くことができ、誠に有り難うございました。コロナ禍の中で開催が危ぶまれましたが、リアル参加者3名、オンライン参加者25名程度で開催することができ、厚く御礼を申し上げます。

パナソニック映像株式会社様の東品川の場所には数年前に知的オフィス環境推進協議会の研究会で見学をさせて頂いたことがあります。今回は大変興味深いご講演を二ついただき、またパナ

ソニック映像株式会社様の各種のショールームなどを見学させていただき、さらに、隣のビル Tennoz RIM も見学をさせて頂き、大変充実した研究会となりました。

大林様の、オフィスにおける執務者の集中度のご講演は大変興味深く、勉強になりました。パソコンで回答する認知課題は、最初はどう答えれば良いのか分からず、複雑だと感じましたが、慣れると1問2秒程度で回答できること、しかし、集中度が下がると10秒程度まで上がることから集中度をセンシングし、その時の顔画像から得られる非常に多くの情報から人工知能を用いて集中度が下がったときの判定を顔画像でできることに結びつけたこと、素晴らしい成果であり、かつ、最新の技術を駆使したソリューションだと敬服しました。そして、集中度が下がったときにデスクの前方から香りを含んだ気流を吹き出し、照明の明るさと色温度を上げることで執務者に刺激を与え、集中度を持続させるシステムになったこと、次世代の「仕事が進むデスク」として完成度が高いと感じました。

また、宮城様のご講演では、映像コンテンツの最新動向や空間デザインの重要性などを大変分かりやすくお話いただき、この分野に馴染みが無い私にとっては驚きと共に映像の将来性を感じることができました。コロナ禍の時代にライブでの映像撮影や処理が少なくなった代わりに、デジタルライブ配信でのエンターテインメントが多くなり、映像制作の新たな展開が始まっていること、また、空間演出のために映像や音響が重要な役割を果たしてきていることを知ることができました。バーチャル展示会やバーチャルショッピングなど、リアルな場所と距離という制約を無くし、また過密を無くし、展示、演奏、ダンス、演劇、営業、販売などがオンラインで進む中で人に感動を与える映像と音響の意義が再確認されたと思いました。リアル空間がプロジェクションマッピングなど映像の力で感動空間に変化すること、リアルとバーチャルの組み合わせで、空間の機能性を高め、人のストレスを軽減し、健康で快適な空間創造に向かっているパナソニック映像株式会社の挑戦に大きな期待を持っています。

これらの講演のあと見学に進みました。多くの部屋でLEDを使ったデジタルサイネージの新たな姿、細い半透明のパイプを多く用いた空間映像提示装置、加速度を発生させる椅子とゴーグルを組み合わせたバーチャル空間体験装置、3次元映像提示装置、アバターを用いたオンライン受付システム、8K画像の超高精度映像提示、スペースプレーヤーを活用した数々の空間デザインシステムなど、パナソニック株式会社のハードウェアとパナソニック映像株式会社の映像制作および映像処理技術が組み合わせ、多くの画期的なソリューションが生まれていること、とても素晴らしい事だと感動しました。そして、自前主義をなくし、他の企業と協業するオープンイノベーションにも大きく舵を切られたこと、ワクワクする空間創出に期待したいと思っています。

パナソニック映像株式会社様の各種のショールームを見学した後、隣のビルにある Tennoz RIM を見学させて頂きました。ここはパナソニック株式会社の遊休施設を活用した複合施設で有り、開放的な運河沿いにあり、緑あふれる超快適なコワーキングオフィスである DOCK（事業主は三菱地所レジデンス）

<https://www.mecsumai.com/thedock/index.html>

と、カフェ、ステージなどがあり、コロナ禍の中では、このステージを使って、ライブ配信を行うなど、新たな利用法が始まっているということでした。コワーキングオフィスであるDOCKは、月額会員もありますが、1時間 1000 円での都度利用も可能であり、上記のホームページのような素晴らしい空間で私も一度 2~3 時間、利用してみたいと思いました。なお、この DOCK でもパナソニック株式会社の照明、空調システムの他、仮眠室照明や、集中スペースでの水の流れる音が下から、鳥のさえずりの声が天井から聞こえるように、床上 30 cm ぐらいの位置の単一スピーカーで特殊な音響空間を創り出しており、そこではテクニクスのスピーカーが使われていました。また、利用者の位置情報をビーコンでセンシングするカードもあり、利用状況などが確認できます。今回オンラインでご参加頂きました皆様には、是非一度、この Tennoz RIM に来て戴いて、天王洲アイルの最新の状況と、超快適オフィス空間などをご体感頂ければと思います。

今回の研究会は、リアルとオンラインの併用研究会ということで、パナソニック株式会社様やパナソニック映像株式会社様の多くの皆様のお力をお借りして実現することができました。ご関係の皆様には厚く御礼を申し上げます。是非、ご関係の皆様にもこのメールをご転送頂き、宜しくお伝え頂ければ幸いです。有り難うございました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

3. 関連写真













